

(別添3)

【滑川町】
校務DX計画

1 現状と課題

本町では、平成25年度より統合型校務支援システムの運用を開始し、平成30年度からは町立小・中学校全校に導入が完了している。また、令和6年度には、これまで運用してきた機能に加え、「欠席連絡」「勤怠管理」「文章交換」の機能を有するクラウド型統合型校務支援システムへと更新することで、校務における教員の負担軽減を図ってきた。

しかし、一部の機能を除いては、校務支援システムにアクセスできるのは職員室に固定で設置している端末のみとなっており、校務におけるクラウドツールの活用が十分といえる状況ではない。

また、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告からも、全国的に「クラウドツールの活用」「FAX・押印等の見直し」等が課題となっていることが伺える。

本町としても、このような課題に取り組み、校務の効率化やペーパーレス化を図っていくことが求められている。

2 課題解決に向けて

上述の課題解決に向けて、次のことに重点的に取り組む。

①FAXを原則廃止とする取り組み

- ・教育委員会と学校の情報交換については、電子メールまたは校務支援システムのメールや文書交換機能等を活用し、電子データでのやり取りを原則とする
- ・外部事業者等とのFAX送受信については、電子メールで送受信可能なやり取りかを精査し、電子メールによる送受信への移行を推進する。

②押印・署名の原則廃止とする取り組み

- ・現状、押印・署名が必要となっている手続き等を精査し、代替手段への移行を推進する。

③クラウドツールの活用

- ・保護者からの出欠席連絡は保護者との連絡システムの活用を継続する。
- ・学校からのお便りは印刷配布ではなく、保護者との連絡システムからの発出を推進する。
- ・ゼロトラスト環境（学習系と校務系のネットワーク統合・教員用端末の1台化）の構築及びロケーションフリーでの校務実施について検討を進める。